

2024年 能登半島地震速報(3)

あらためて、今般の震災で大変困難な状況に直面されている組合員とそのご家族の方々にお見舞い申し上げます。その方々の状況と全国港湾の取り組み状況を知らせるために、速報(3)を発出しますので、情報提供として活用ください。

1. 1月16日報道によると石川県内の住宅被害が2万1411棟に上ることを県が明らかにしたと発表しました。また、倒壊を免れた建物を対象とした応急危険度判定では、15日までに調べた建物の約35%が、立ち入り禁止の「危険」と判定されたことも判明しました。
2. 日本海地区港湾より、1月16日現在の「能登半島地震緊急対応」が全国港湾に送られてきました。内容は、これまでの地区の対応と支援物資に関連する本船動向と組合員の被災状況が詳細に報告されています（別紙参照）。金沢港関係では、5人の組合員の家屋の半壊と全壊が報告され、七尾港では32人の組合員の家屋が、構造上問題がありそうだとし、37人の組合員の家屋が壁などに亀裂が入るなどのダメージを受けているとされています。
3. 前回の地震速報(2)でお知らせした1月15日の常任中執において、以下の内容を確認した。
 - (1) 各単組・地区港湾からの義援金と財政支援として、組織（単組・地区港湾加盟組合）カンパとして一人/200円を提案する。
 - (2) 日本海地区港湾の23年度加盟費72,000円を免除する。
 - (3) 上記(1)・(2)は第6回中執で検討・確認し、実施する。

以上